学校番号	T3011

令和８年度　工業科（HS 系列）

教科	工業	科目	製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	製図　（実教出版）						
副教材等	機械製図 製図例 CAD データ集 DVD						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図の基礎、図面の役割、用具とその使い方、投影図、立体的な図示法等を学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、身につけている。製図に関する事象について理解し、読図・作図の技能を身につけている。	製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考えかたを的確に表現できる。	製図に関する事象に関心をもち、意欲的に探求する態度を身につけようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第Ⅰ章製図の基礎	1 機械製図と規格 1 図面の役目と種類 2 製図の規格 2 製図用具とその使い方 1 製図用具 2 製図用具の使い方 3 図面に用いる文字と線 1 文字 2 線 4 基礎的な図形のかき方 1 基礎的な作図 2 直線と円弧、円弧と円弧のつなぎ方 3 平面曲線 5 投影図のえがき方 1 投影法 2 投影図のえがき方 6 立体的な図示法 1 等角図のえがき方 2 キャビネット図	a: 製図の基礎に関する課題が正確に作成できる。 製図の基礎の意義や役割を理解しているか。 b: 製図の基礎に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 製図の基礎に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	授業態度 作品	授業態度 作品 質問内容	授業態度 作品
後期	第2章製作図	1 製作図のあらまし 1 製作図 2 尺度 3 図面の様式 4 製作図のかき方と検図 5 図面の管理 2 図形の表し方 1 図の選び方と配慮 2 断面図示 3 特別な図示法 4 線･図形の省略 3 寸法記入 1 基本的な寸法記入法 2 いろいろな寸法記入法 3 寸法記入についての留意事項	a: 製図の基礎に関する課題が正確に作成できる。 製図の基礎の意義や役割を理解しているか。 b: 製図の基礎に関する正しい思考・判断ができているか。 c: 製図の基礎に興味・関心を持ち意欲的に取り組めているか。	授業態度 作品	授業態度 作品 質問内容	授業態度 作品

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度